

平成28年台風第10号災害からの復旧・復興 記念式典を開催しました！

沿岸広域振興局土木部 岩泉土木センター

平成28年台風第10号豪雨により、岩泉町では小本川などの河川氾濫や土砂災害が数多く発生しました。このため、岩手県では、発災以降、同台風災害からの復旧・復興事業（道路・河川・砂防）を進めてきました。発災から9年の歳月を経て、令和7年10月末の小本川河川改修工事の完成をもって、全ての復旧・復興事業が完了しました。

これを記念し、令和7年11月1日に岩泉町民会館で「平成28年台風第10号災害からの復旧・復興記念式典」を開催しました。

式典には、達増知事のほか、町内外から来賓約70名が出席し、復旧・復興事業の完了を祝いました。



主催者挨拶（達増知事）



来賓祝辞（鈴木衆議院議員）

主催者挨拶では、達増知事が「国土交通省、岩泉町、工事関係者など、関係各位に深く感謝を申し上げる。本災害からの復旧・復興事業の成果が、防災・減災対策の一層の推進、ひいては、安全で快適な郷土の創造と、当地域の更なる飛躍に大きく貢献するものと確信している。」と述べました。



来賓祝辞（木戸口参議院議員）



来賓祝辞（城内岩手県議会議長）



来賓祝辞（矢崎国土交通省
水管理・国土保全局防災課長）



事業経過報告（岩泉土木センター藤島所長）



御礼の言葉（中居岩泉町長）



くす玉開披

来賓祝辞の後に、岩泉土木センター藤島所長から、被災当時の状況や復旧・復興工事のあゆみ、流域治水の取組など事業経過報告を行いました。

続いて、中居岩泉町長から、県や工事関係者に対する御礼の言葉をいただくとともに、「この災害の教訓を決して風化させず、後世に継承し、誰一人犠牲者を出さない災害に強いまちづくりに取り組んでいく。」とお話いただきました。

その後、達増知事や中居町長をはじめとする来賓の代表計14名の方々がくす玉開披を行い、事業の完了を祝いました。



動画上映



パネル展

最後に、「いわいずみ9年のキセキ～未来へつなぐ桜とともに～」と題して、地域の方々のインタビューを交えた復興へ至る動画の上映を行い、閉式となりました。

会場内では、復興のあゆみを振り返る「いわいずみ復興かわら版」パネル展を併せて開催しました。

～ 事業による整備効果が着実に現れています ～

令和6年8月の台風第5号では、平成28年台風第10号と同規模の総雨量を記録しましたが、小本川では治水対策の進捗により、河川氾濫による浸水被害はありませんでした。同様に、岩泉町内で整備した砂防堰堤が崩壊土砂や流木等を捕捉し、下流への被害を防止しました。

引き続き、出前講座や流域治水の取組を通して、安全・安心な地域づくりに取り組んでいきます。

【代表箇所の完成写真】



二級河川小本川 市街地地区



二級河川小本川 乙茂地区



本銅口の沢



国道455号 中島地区